

製品名: BMP-8A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07604**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	45-55kDa

抗原情報

遺伝子名	BMP8A
別名	BMP8A; Bone morphogenetic protein 8A; BMP-8A
遺伝子 ID	353500.0
SwissProt ID	Q7Z5Y6
免疫原	抗血清はヒト BMP8A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 253-302

背景

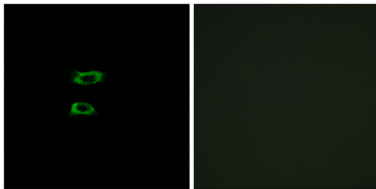
この遺伝子は、TGF- β (形質転換成長因子 β) スーパーファミリータンパク質の分泌リガンドをコードしています。このファミリーのリガンドは様々な TGF- β 受容体に結合し、遺伝子発現を制御する SMAD ファミリー転写因子のリクルートメントと活性化を引き起こ

します。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解によって処理され、ジスルフィド結合ホモ二量体の各サブユニットを生成します。このタンパク質は生殖器系の発達に関与している可能性があります。この遺伝子は遺伝子重複によって生じた可能性があり、その遺伝子重複は1番染色体にも存在します。[RefSeq 提供、2016年7月]、機能: 軟骨および骨の形成を誘導します。上皮性骨形成現象の原因となる骨誘導因子である可能性があります。カルシウム調節と骨の恒常性維持に役割を果たす。、オンライン情報: 骨形成タンパク質 8A エントリ,類似性:TGF- β ファミリーに属する。、サブユニット:ホモ二量体;ジスルフィド結合。、

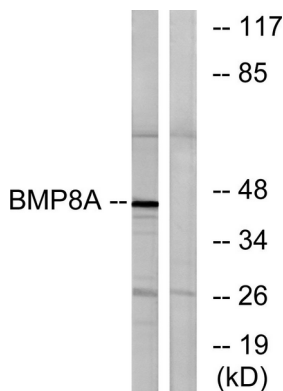
研究分野

ヘッジホッグ;TGF-ベータ;

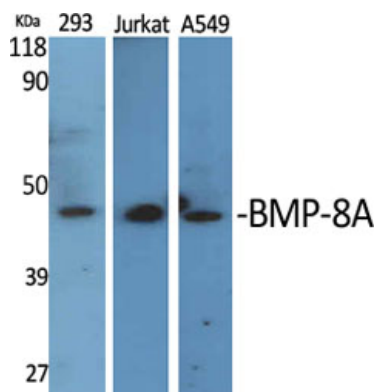
画像データ



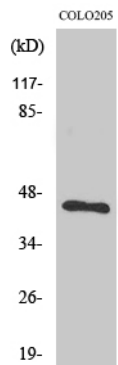
BMP8A 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



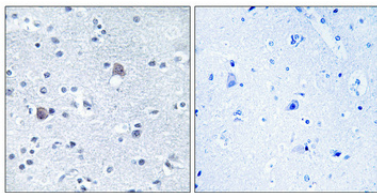
COLO 細胞ライセートの BMP8A 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



BMP-8A ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



BMP-8A ポリクローナル抗体を用いた COLO205 細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。